

NPO 法人 HOPE 令和 5 年度事業報告書

I. 令和 5 年度における事業展開

昨年 5 月に開設した就労継続支援 B 型事業所 HOPE 第二”も順調な伸びを示している。B 型支援事業の一環として取り入れている各種イベントもワークショップ、スポーツプログラム、ステージ鑑賞など様々なプログラムが実施されるようになり、利用者同士の親睦の向上に役立っている。

II. 各種事業

利用者一人一人の健康面、精神面に留意しながら以下の事業をおこなった。新型コロナウイルス対策も今や日常化し、受注量も落ち着きを見せている。

(1) 就労継続支援 A 型

活動内容：施設外就労（介護施設にて調理補助、文房具。事務機器製造・販売会社で事務用品の補助作業）

軽作業（缶バッジ封入、シール貼り、鈴作成その他）

パソコン作業（出品代行作業、データ入力他）

令和 5 年度末契約利用者数： 11 名 月額平均賃金： 84,203 円

(2) 就労継続支援 B 型（HOPE 第一・HOPE 第二）

活動内容：軽作業（缶バッジ封入、シール貼り、ネックストラップ作成その他）

令和 5 年度末契約利用者数：第一 15 名・第二 15 名 月額平均工賃： 22,628 円

(3) 就労移行支援

利用者の状況に合わせたきめこまかなプログラム作成と支援。

IT ベンチャー企業が監修したプログラムなど、就労に結び付くプログラムの提供。

令和 5 年度末契約利用者数：現在の利用者は無し。利用者の定着につながる支援内容の確立が早急の課題。

・地域との連携

荒川区の介護施設において、就労継続支援 A 型の施設外就労として現在 2 名が調理補助に従事している。開始してから 3 年以上になるが、作業にも慣れ、丁寧な仕上がりがコンスタントに提供できるようになっていて、地域の福祉活動に継続的に貢献している。

Ⅲ. 令和5年度研修報告

| 実施月 | 【内部研修】実施テーマ | 実施内容 |
|-----|--------------------|--------------------|
| 4月 | 身体拘束と障害者虐待防止について | 虐待の原因と解決策、身体拘束の弊害。 |
| 7月 | 障害特性を踏まえた就労支援 | 個々の障害の特性理解とその就労支援。 |
| 10月 | 身体拘束と障害者虐待防止について | 虐待の原因と解決策、身体拘束の弊害。 |
| 12月 | 障害者施設におけるBCP危機管理研修 | 当事業所におけるBCPの理解。 |

| 実施月 | 【外部研修】内容 | 主催者 |
|-----|-----------------|-----------------|
| 9月 | ピアサポート基礎研修 | 公益財団法人東京都福祉保健財団 |
| 11月 | ピアサポート専門研修 | 公益財団法人東京都福祉保健財団 |
| 2月 | ピアサポートフォローアップ研修 | 公益財団法人東京都福祉保健財団 |

Ⅳ. 定例会議

| 実施月 | 議題 |
|-----|-------------------------------------|
| 4月 | 通所実績報告 現況報告 パソコンリサイクル事業について |
| 5月 | 通所実績報告 現況報告 パソコンリサイクル事業について |
| 6月 | 通所実績報告 現況報告 新規施設外就労について |
| 7月 | 通所実績報告 現況報告 新規施設外就労・パソコンリサイクル事業について |
| 8月 | 通所実績報告 現況報告 新規イベントについて |
| 9月 | 通所実績報告 現況報告 最低賃金アップに伴う取引先拡大の必要性 |
| 10月 | 通所実績報告 現況報告 最低賃金アップに伴う取引先拡大への協力依頼 |
| 11月 | 通所実績報告 現況報告 生産活動収支報告について |
| 12月 | 通所実績報告 現況報告 生産活動収支報告について |
| 1月 | 通所実績報告 現況報告 生産活動収支報告について |
| 2月 | 通所実績報告 現況報告 生産活動収支報告 利用者間の親睦を深めるには |
| 3月 | 通所実績報告 現況報告 生産活動収支報告について |